



多文化共生時代の福祉を考える

こころの家族

No.353

2023年9・10月

日韓親善キリスト教コンベンションに参加した聖歌隊が故郷の家・京都を訪問した。(2〜3ページと8ページに関連記事)



水仙花は枯れなかった。そして、半世紀

韓国・木浦共生園の水仙花合唱団を引率して約1か月間、大阪、熱海、東京、福岡の柳川などで公演した1971年の夏を忘れる事ができない。

小、中、高校生で構成された合唱団の少女たち。過去も未来も考えず、ただ純粋な交流をする韓日両国の子どもたちを見て、日韓両国の将来や人間の未来をあまり心配しなくても良い、というある確信を得た。

経済発展により高度に汚れた日本人がいつも心配するように、人間の情などが完全に枯れてしまったのか？ 違うという実証を私はあまりにも多く見てきた。

侵略されたという過去のため、韓国の若者たちは永遠に日本を憎むべきなのか。またそうなるしかないのか。やはりそうではないという事は私は見た。私は合唱団の引率者だった。私の目に映った合唱団と日本を書こうと思った。今も目を閉じれば「友だちは良いもんだ」、また「愛する」を合唱する両国の純度の高い声が聞こえるようだ。それは美しい声だ。

今年3月。来日した尹大統領は私に「共生園の話はミュージカルにしたら良いですね」と言われた。共生園の話とは、韓国人伝道師・尹致浩と音楽教師・田内千鶴子の話である。

そして7月、連絡が来た。ミュージカルで韓国 No.1 の監督がその話によく知っている、原作者の私を待っている。監督はシナリオや音楽も日韓両国で公募したい。制作資金は国に頼らず作品の力で制作したいと語った。

韓国がここまで成長したなと感動を覚えた。「国連世界孤児の日」の実現につながって欲しいという気持ちがやまない。

もう80歳の私だが、尹大統領の一言は私を青春に戻した。夢と希望は人間を若くする。

社会福祉法人こころの家族
尹基 (Tauchi Motoji)

もくじ

日韓親善キリスト教コンベンション開催…	2〜3p
こころの家族新役員 ……………	3p
「ソウルと木浦共生園訪問の旅」ご案内…	4p

ワンポイント体操、韓国料理……………	5p
インタビュー／福田孝雄さん……………	6〜7p
おんどう……………	8〜9p

ちいさな芽……………	10p
------------	-----

高齢化社会における教会の役割とは

第2回 日韓親善 キリスト教 コンベンション

昨年秋、田内千鶴子生誕110周年を記念して韓国木浦で開かれた第1回に続き、第2回日韓親善キリスト教コンベンションが6月30日、大阪のシエラトン都ホテルで開催された。牧師や教会のリーダーらを中心に韓国から約40名、日本から80名が参加、「日韓新時代―和解と共生」を掲げ、「高齢社会を迎えた教会の課題と使命」について、両国の参加者から貴重な提言が寄せられた。



隊員の平均年齢は70歳、最年長は92歳という木浦連合長老聖歌隊と、共演した歌手の呉先知（オ・ソンジ）さん。盛り上げに一役買った。



高田義三牧師



清水昭三牧師

高田義三牧師（ニュージールランド大阪教会）の開会挨拶、村上好伸牧師（カリスチャペル）、柚浩二氏（神戸平和研究所）の挨拶、李成植長老の祝辞に続き、主題発表が行われた。

日本側の主題発表を行った清水昭三牧師（高石聖書教会）は自身の体験から語り起こし、「軍備拡張や核保有ではなく『キリストにある愛の草の根運動』が、韓国と日本の間に、世界中に広がるように祈る」と述べた。

韓国でも日本を超えるス



権龍植牧師



尹基理事長



中島孝夫さん

ピードで高齢化が進んでいる。韓国側から主題発表を行った権龍植（クオン・ヨンシク）牧師（木浦キリスト教教会連合会前会長）は、今なお老人ホームについて否定的な認識を持たれることがあり、高齢者の自殺も多い韓国社会の現状を報告、高齢化した信者のため、宣教的な次元でも高齢者福祉施設が必要とした。

こころの家族の尹基理事長は「日本に来て以来、日本の教会7000箇所を教会兼福祉施設にしたらどうかと考えてきた。全国の教会が福祉施設を併設するコミュニティチャーチ、ウエルフェアセンターに、変化していくべきではないか。日韓両国が力を合わせればできる」と語った。

食前祈祷は金澤泰裕牧師が務めた。

年齢を感じさせない力強い歌声で会場を大いに盛り上げたのは木浦連合長老賛美団（聖歌隊）。また、特別賛美としてソプラノ歌手・車賢淑（チャ・ヒョンスク）さんが「ユー・レイズミー・アップ」などを歌い上げた。この日、司会としても活躍したピアノの小堀英郎さんが伴奏を務めた。

なごやかな空気で満たされた中、中島孝夫さんが「次は木浦で」とにこやかに閉会の挨拶を述べ、高原幸男牧師の祈祷でコンベンションは幕を閉じた。

* 7月2日には韓国からやってきた5人の牧師が日本の5箇所の教会に赴き、講壇交換が行われた。これらについて後日、報告会も行われ、今後とも日韓交流を継続していくことが確認された。

コンベンションに参加して* 韓国からの参加者の声

感動的な時間となった

木浦連合長老賛美団

朱京一(チユ・ギョンイル) 長老

私は1938年に京都で生まれま
した。今回、大阪で、そしてコンベン
ション翌日は京都を訪問することが
決まり、85年ぶりに故郷を訪れるこ
とを毎日楽しみにしていました。で
も、50名の賛美団(聖歌隊)の約半
数が参加するコンベンションで役割を
果たすことができるだろうか、心配
もありました。聖霊が彼らと共にい
るならば、きつと神の意志を成就し、
主は喜ばれると信じて来しました。

私たちの賛美団は一曲、一曲、歌う
たびに大きな拍手で迎えられました。
会場の皆さんは歌が大好きで、手を
大きく振って夢中になってください
ました。私の心配とは裏腹に、とても
感動的な時間となったのは神の恵み
でした。

翌日、私たちは京都の「故郷の家」
を訪れました。こじんまりしたホテ
ルのような、清潔な環境が印象的
でした。お年寄りが車椅子で私たち
を迎えてくれました。

私たちが慰安の時間を提供したい
と願って聖歌を歌うと、聴衆の皆さ
んが目頭を熱くしているのを見まし

た。「故郷の春」を歌いながら、皆さ
んと一緒に懐かしさを感じ、悲しみか
ら喜びへと幸せな時間を分かち合う
ことができました。

互いの心に共感

コンベンション推進委員長

権龍植(クオン・ヨンシク) 牧師

近年、韓国では(福島原発の処理
水放出で)反日感情が強まり、私も
負担を感じながら韓国を出発しまし
た。真の和解を果たす契機になれば
と大阪に行ったのですが、振り返れ
ば不安をよそに、結果的にはとても
満足した旅でした。

また、教会間のやりとりを通して
兄弟愛を感じ、お互いの心に深く共
感しました。第2回コンベンションを
通して、私たちはお互いに心からの
気持ちを感じました。イエス・キリス
トの和解と赦しを通じて、韓国人と
日本人が共生していくことを祈りま
す。実行委員会の皆さまの温かい歓
迎と親切に感謝申し上げます。

ホームページにはコン
ベンションの写真をこ
の他にも掲載しており
ます。ぜひアクセスし
てみてください。



こころの家族 役員

(2023年6月29日現在)

理事長

田内 基
(韓国通名 尹基 韓国共生福祉財団会長、
尹鶴子財団会長)

常務理事(兼 関西担当業務執行理事)

田内 緑(社会福祉法人共生福祉財団理事、
共生園名誉園長)

業務執行理事(法人運営及び国際交流担当)

田内文枝
(尹鶴子共生財団理事、
社会福祉法人こころの家族総括理事)

業務執行理事(関東及び資源開発担当)

多胡元喜(いのちのこころ社名誉会長)

理事

金 基周(学校法人白頭学院常任顧問)
小平牧生(キリスト兄弟団西宮教会主任牧師)
柚 浩二(株式会社サンビルダー会長)
原田憲治(前衆議院議員)
藤原一臣(故郷の家・京都施設長)
梁 起豪(韓国・聖公会大学教授)
米田真理子(有限会社イーストレイク代表取締役)

監事

黒木保博(公立大学法人長野大学教授)
早川泰史(NPO 法人堺市相談支援ネット事務長)

評議員

阿部志郎(神奈川県立保健福祉大学 名誉学長)
井手之上優(大阪府社会福祉協議会 会長)
金 有作(更生保護法人京都保護育成会 理事長)
小西孝蔵(国際 NGO ワールドビジョンジャパン
理事長)
左藤浩子(学校法人大谷学園 評議員)
炭谷 茂(社会福祉法人恩賜財団済生会理事長)
崔 金粉(在日大韓婦人会中央本部顧問)
橋本正明(公益財団法人社会福祉振興・試験セン
ター 理事長)
長谷川冴子(一般社団法人全日本合唱連盟 理事長)
福田孝雄(NPO 法人日本語教育活動支援協会 理
事長)
水上洋一郎(社会福祉法人さぼうと21 監事)
峯野龍弘(ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教
会主管牧師)

田内千鶴子生誕 111 周年記念

「ソウルと木浦共生園訪問の旅」ご案内

かねてよりお知らせしておりました「木浦市民への感謝碑除幕式」にともなう「ソウルと木浦共生園訪問の旅」の詳細をご案内いたします。

今回の旅では、11月1日に行われる除幕式のほか、福祉シンポジウムや交流会、キリスト教コンベンションをあわせて開催、また観光も楽しめる3泊4日の旅となっております。多くの方のご参加をお待ちしております。

※印のプログラムには全員で参加ください。他は自由参加、会費制申し込みとさせていただきます。オプションで韓国のグルメやショッピング、観光もお楽しみいただけます。

10月31日(火) 成田または関空 → 仁川空港 → ソウルへ(泊)

シンポジウム「グローバル時代の日韓福祉協力」 15:00～17:35 国民日報(ソウル)

主催 韓国社会福祉協議会
基調講演 呉 俊 (オ・ジュン) 元国連経済社会理事会議長
「全世界韓人と社会福祉の役割」
特別講演 李 基哲 (イ・キチョル) 在外同胞庁長
「在外同胞庁の政策方向」
発表 市川 一宏 元ルーテル大学教授 「日韓福祉協力増進について」
柳 愛貞 健康保険公団総合支援研究センター長
「日韓福祉、民間協力(韓国)」
中村 秀一 国際医療福祉大学院教授
「日韓福祉、民間協力(日本)」
総合討論「日韓福祉協力」(座長) 柳 秀鉉 前實実大学教授



田内千鶴子生誕 111 周年記念懇親交流会 18:00～20:00 国民日報(ソウル)

11月1日(水) ソウル → 龍山 → KTX で木浦へ(泊)

木浦市民へ感謝碑除幕式※ 14:00～15:00 木浦共生園

日韓親善キリスト教コンベンション 16:00～18:00 木浦 新安ビーチホテル

テーマ 「和解と宣教」朴ダニエル(アンテオケ宣教会宣教師)
交流音楽会では「感謝の歌」(作詞・峯野龍弘、作曲・田中恵子)が披露されます。

歓迎交流会※ 18:30～20:30 木浦 新安ビーチホテル

社会福祉法人「學正会」(福岡県柳川市) 雅楽部が演奏を披露します。



11月2日(木) 木浦観光(泊)

高下島や儒達山を結ぶ海上ケーブルカー、木浦近代歴史館など史跡も豊富な観光都市・木浦を楽しんでいただけます。

11月3日(金) 木浦 → KTX で龍山へ。仁川空港から帰途

韓国国内での旅行費用(概算見込み) 1人 70,000 円。別途航空費要(参考: 関空～仁川往復 50,000～70,000 円。変動あり) ※参加希望者には詳しい案内書をお送りします。

お問い合わせ

関東方面＝故郷の家・東京 裴哲恩 (cheoleunbae@gmail.com)、電話 03-3644-0555
多胡元喜 (m-tago@kokorono.or.jp)、電話 090-9305-6763
関西方面＝法人本部・橋本優子 (y-hashimoto@kokorono.or.jp)、電話 072-271-0881

ワンポイント体操

故郷の家 機能訓練士 中橋 学

巻き肩ストレッチ

巻き肩とは腕が体の前方に移動している状態を指します。これに伴いストレートネック・猫背などの姿勢の悪化を助長してしまうので、今回は巻き肩予防・改善のストレッチをお伝えします。

肩の位置を正しい位置に戻すことで姿勢の改善を見込めるので、今後継続して行っていただくと効果的です。

①巻き肩の確認

身体を横から見ると、巻き肩の人は肩の位置が前方に出ていることがわかります。

※青線→背骨
黄色●→肩



②身体からひじを少し離し、ひじを曲げた状態から腕を外にひねる。(フォームが大事なので写真通り行う。)



③ひじを下に押すように肩を下げていく。(体は倒れないようにまっすぐ)



④ひじを少しずつ手先の方向へ伸ばしていく。(ゆっくりと行い、ひじを伸ばしきらないように行う。)



⑤この状態で首を反対側に倒す。(腕にしびれが出る場合は中止してください)

この際に首・肩・腕に伸びる感覚が出るところで10秒間止める。
2〜3セット行う。



ヘルシーな 韓国料理



豆腐チョリム

(トubbチョリム 두부조림)

故郷の家・京都 管理栄養士 杉野 明子

「トubb(두부)」は「豆腐」、「チョリム(조림)」は「煮物や煮つけ」という意味で、豆腐チョリムは味付けした出汁で煮込んだ韓国の家庭料理の定番です。冷蔵庫で数日保存できるので常備菜にもなり、お弁当のおかずにもおすすめです。暑い夏にはピリッとした豆腐チョリムはお酒のあてにも最適です。残暑厳しい今年の夏にも、ぜひ豆腐チョリムを作ってみませんか？



材料 (4人前)

- ・木綿豆腐 …………… 300g
- ・塩 …………… 少々
- ・サラダ油 …………… 適量
- ・水 …………… 大さじ1

※たれ (ヤンニョムジャン)

- ・青唐辛子 …………… 1本
- ・赤唐辛子 …………… 1本
- ・濃口醤油 …………… 大さじ1.5 (20ml)
- ・薄口醤油 …………… 小さじ1
- ・みりん …………… 小さじ1
- ・粉唐辛子小さじ1/2

作り方

- ①豆腐を5×3cmの拍子切りに切る。
- ②豆腐に塩を振り、キッチンペーパーで包み、10分程度しっかりと水切りする。
- ③フライパンにサラダ油をたっぷりに入れ、②をきつね色になるまで両面焼く。
- ④③にたれ (ヤンニョムジャン) 大さじ1 と水大さじ1 入れ、汁気なくなるまで煮る。
- ⑤皿に盛り付け出来上がり。

最後にエゴマの葉をトッピングするのがおすすめです。ツナを加えると少し甘みが変わり、マイルドな味わいの豆腐チョリムが楽しめます！

社会保障の変遷を半世紀見続けて

インタビュー

福田 孝雄 さん



「この家の家族」の尹基理事長が韓国から来日し、在日韓国人のための老人ホームづくりを奔走していた時、厚生官僚の立場から見つめていた一人が福田孝雄さんでした。その出会いは、人生に少なからず影響を与えたようです。昨年6月から法人の評議員を務める福田さんに福祉の専門家として実体験した半世紀をうかがいました。

の仕事を離れて何か援助できることはないかと考えるようになりました。そこで、共生園の心の里親のプランに参加して、毎月、韓国共生園に寄付をしました。何年かたって、共生園に補助金が出るようになったとかでその事業がなくなりましたが、男の子の里親として、手紙をもらうなど親しく交流しました。

——そもそも、なぜ厚生省や社会保障の道を選ばれたのですか。

福田 東京大学では隅谷三喜男先生のゼミでした。ゼミのテーマは工業経済でしたが、先生の本来のご専門は労働経済学。労働経済には年金や医療保険といった社会保障分野も含まれるので、社会保障に関心を持つようになりました。また後になって知ったことなのですが、先生は韓国の経済も研究され著書もあります。実態通りに書いたのが当時の韓国政府から嫌がられたとか(笑)。

——厚生省でももちろん、福祉以外の様々な課題に関係されたと思います。思い出に残る出来事がありますか。

福田 いろいろありますが、1986年、伊豆大島の三原山が大噴火し、全島民が避難する事態になったときは、社会局施設課は災害救助法の担当課でもあるので、担当課長として避難された方々の救助、支援に携わりました。

また、援護局庶務課長在任時、中国の天安門事件(1989年)の少し後でしたが中国残留孤児の帰国事業にも携わりました。最も帰国者が多い時期は過ぎ

社会・経済の変化に伴う福祉の課題

——日本の福祉を長く間近でご覧になって、変遷をどうとらえていますか？

福田 2000年ごろまでは社会保障の整備、充実が進んだ時代といえます。皆保険、皆年金が達成され、児童手当法ができた、老人医療の無料化なども行われたり、年金額も引き上げられました。介護保険法も2000年に施行されました。それを可能にした背景には経済の高度成長がありました。

ただ、このころから高齢化の進展や経済の低成長化によって財政問題が深刻化し、いろいろな分野で見直し、調整が必要となってきました。年金であれば給付開始年齢の引き上げ、高齢者医療や介護保険の場合は所得に応じた自己負担の引き上げなどですが、それは多くの先進国に共通の問題でやむを得ない側面もあります。最近フランスでも年金支給年齢引き上げが大きな問題になっていますが、問題の原因は同じだと思います。

労働環境で近年大きく変わってきたのはいわゆる非正規雇用が増えたことです。非正規雇用すべてではないですが、こうした方々の中には健康保険や厚生年金など被用者のための制度に加入できない方も多いのが実情です。例えば国民健康保険は、元来は自営業者や無職の

ていましたが、まだ日本に帰りたい人が多かった時です。何度か孤児の聞き取り調査に立ち会いましたし、中国東北地方の瀋陽や撫順、さらには西安など訪ねて当事者に会いました。

中国の人たちは、ああいう終戦による混乱の時代であっても、日本人の孤児を優しく育ててくれていました。いつの時代でも人間のヒューマニズムという人間愛の精神は絶えることはないと感じましたし、田内千鶴子が木浦共生園で孤児を育てたことも通じると思います。

——衆議院の法制局にも長くいらつしやいました。どのようなお仕事を？

福田 国会に提出される法案には、内閣が提出する議員提出法案と国会議員が提出する議員提出法案があります。議院法制局は議員提出法案の材料を提供し立案するなど事務方としてお手伝いするところです。

——何か記憶に残る法律はありますか。

臓器移植法にも携わった

福田 法制局の第5部長の時、この部は厚生、労働、環境関係の議員立法を扱うのですが、臓器移植法の立法化作業に携わりました。当時、日本では法制度が整っていないため心臓移植手術ができず、何億、何千万円もかけて海外で手術するケースも多く、日本でも法制化が望まれるようになったためです。脳死を死とする考え方の整理とか臓器移植の要件などについて議員の方々と詰めていくのですが、様々な考え方を整理したりするのに相当の年月がかかりましたし、国会でも何度か答弁しました。

法律は1997年に成立しましたが、法制化で多くの方が国内で手術を受けられるようになったと聞き、当時の担当者としてうれしく思っています。

方を対象にしていたのですが、今では自

営業者より被用者のほうが多くなっています。こうした雇用の変化に対応するのも今後の社会保障の課題だと思います。もう一つ、近年の労働環境の変化としては、働く女性の増加とそれによる共働き家庭の増加があげられます。これに対しては、少子化対策という意味もあり、育児休業や介護休業が法定化されその充実も図られています。これは大きな前進だと言えます。

一方で、福祉施設においては一人一人の生活のクオリティー(QOL)が格段によくなくなったのも事実です。老人ホームもかつては大部屋が基本だったのが、今は個室が主流です。プライバシーの確保や、人権を尊重するようになった半面、それだけ費用もかかるので利用者の負担も増えています。年金や所得が多くない方々については負担の軽減を実態に即した基準で行う必要があると思います。

韓国との縁は続く

——ところで、娘さんが韓国人と結婚してソウル近郊に住んでいらつしやるとか。韓国との縁は続くのですか。

福田 特段、私が強い影響を与えたと

は思っていませんが、10年ほど前に結婚し、2人の孫がいます。

韓流ドラマ「チャングムの誓い」や「チュモン」などをみんなで見たたりして、家で韓国をよく話題にしていました。韓国の人と交際したと聞いても、特に抵抗感はありませんでした。それより相手の方の人柄の方が大事です。中米のコスタリカにある国連平和大学で二人とも留学中に知り合ったそうです。

今、夫は国連機関で働いていて、娘たちは韓国に住んでいます。教練のマンション(韓国ではアパートとよばれています)が集まったマンション団地のようなところですが、団地内にはオリニチプ、日本という保育園ですが、それが何カ所もあり、共働き家庭でなくても利用できます。マンションの1階がオリニチプになっている場合が多いです。そういうところは、日本よりも便利だと言っていますね(笑)。上の子はサッカー教室に通っているようです。

——公務員退職後は川崎医療福祉大学(岡山県倉敷市)の教授として11年間、教鞭をとられました。

福田 自身は東京生まれですが、育つたのは兵庫県の姫路です。実は役人の経験を生かせる場で働きたいと考えていました。岡山県は、明治時代に石井十次が国内最初の孤児院(岡山孤児院)を作るなど福祉先進県なんです。実業界でも倉敷紡績の大原孫三郎が美術館や病院を作るなど社会貢献の伝統があります。また、そのころ同居していた母が亡くなったので、地方に転居していいかなと。そう思っていたところ幸運にも採用していただきました。

——教授生活で思い出に残ることはありましたか？

福田 福祉専門職を目指す学生たちと授業やゼミ、ときには飲み会などの場でふれあうことができ、充実した期間を過ごせることができました。

また厚労省の外から福祉を振り返ることもできたこともよかったです。在職中、デンマーク政府が主催した福祉ツアーに私費で参加したことがありますが、そこでは老人ホーム(実際は高齢者住宅)の部屋も大変広く立派でした。個室で40㎡くらいです。その入居者が、「これまでずっと高い税金を払ってきたからこうしたサービスを受けるのは当然」という趣旨のことを言われたことを思い出します。

介護サービスは無料(公費)で、家賃に相当する施設の入居費用はある程度必要ですが、年金で賄えるそうです。デンマークでは消費税は当時25%だったと思いますが、こうして自分に還元されることを知っているから国民は高負担であつてもそれを受け止めているんだと感じました。納税者としての国民の権利意識が福祉の基礎になっていると思いますし、こうした考え方は日本も見習うべき点があると感じましたね。

(聞き手・市川速水)

* 福田孝雄(ふくだ・たかお)

1943年、東京生まれ。兵庫県で育つ。1966年東京大学経済学部を卒業後、厚生省(現厚生労働省)入省。1992年衆議院法制局へ出向。同局第5、第1部長等を経て2002年退職。2013年まで川崎医療福祉大学医療福祉学部教授。故郷の家・東京で苦情処理の第三者委員も務める。NPO法人「日本語教育活動支援協会」理事長。

「懐メロ聴くの会」が来訪



7月6日(木)、ボランティアの「懐メロ聴くの会」の3名様にお越しいただき、カラオケで盛んに盛り上げていただきました。

約3年半ぶりにボランティアとして、お越しいただき、昔懐かしい曲から、ご利用者の要望に応じた歌を歌っていただきました。参加されたご利用者からは、「楽しかった」「もっといろんな歌を聞きたかった」「また来て盛り上げてほしい」などの声が聞かれました。

「懐メロ聴くの会」の方も、最高齢が92歳ですが、とてもパワフルな歌声を披露し、たくさん盛り上げていただきました。今後も月に1度は訪問して、この施設の力になれたらとおっしゃっていただき、とてもありがたく思います。

韓国から ボランティア公演

7月1日午前、韓国木浦市より、日韓親善キリスト教コンベンション参加者40名様が故郷の家・京都に来てくださり、入居者様の前で、聖歌隊による賛美歌や唱歌の合唱、こころ温まる交流をしてくださりました。入居者様も一緒に歌ったり、手拍子されたりと大変盛り上がりました(表紙に写真)。



午後からは韓国ソウル市から、ガーデンファイブ合唱団の皆さんにお越しいただき、施設内のホールで、生合唱を披露して頂きました。入居者様からは、感動の拍手もあり、この日1日で、たくさんの方の有意義な時間を過ごすことができました。韓国から、故郷の家・京都にお越しいただいた皆さんに、心から感謝申し上げます。



京都

移動スーパーでお買い物

最近、新聞や雑誌、テレビなどのメディアでも取り上げられている「とくし丸」。地域のスーパーと提携し、軽トラックに商品を載せて巡回している、移動スーパーです。お店に買い物に行くことが難しい地域の高齢者や、忙しいママさん達の強い味方でもあるこの「とくし丸」が、



「皆さんのお楽しみになるのなら…」と堺の施設に巡回してくださっています。

巡回日には、並べられたお菓子や果物を手に「どれにしようかな」と皆さん念入りに品定め。「これは少し固いから、こっちの方が食べやすいと思いますよ」と職員のアドバイスを参考に、自分の目で品物を見て、選ぶ楽しさを堪能していただいています。



今年の夏も気温の高い日が多く、天窓のあるホールは暑くなり過ぎないかと心配でしたが、皆様大変喜んで下さり、よい暑気払いが出来ました。

8月6日(日)、堺の施設では3年ぶりに納涼祭の催しを楽しみました。1階のホールを夏らしく飾りつけ、6月よりネパールから来日して頑張っている4人の職員にも、浴衣を着てもらって入所者様をおもてなし(写真上)。



堺



納涼祭でカラオケ大会!

地域の人も参加して 腰痛予防体操

地域住民との交流のために腰痛予防体操の講座を開催いたしました。

コロナ明けで集まってくれるか心配したのですが、5名の方が参加してくださいました。理学療法士が懇切丁寧に講義と実践を組み合わせ、とても有意義な時間となりました。素人ではわからない腰痛予防のための重要な体操を、参加者の皆さんもしきりに感心しながら受けていらっしやいました。早速「次の開催はいつですか」と聞かれました。



東京



「カップラーメン」テーマに 食文化講座

7月18日、カップラーメンの開発物語ということで、こころの家族とも縁の深い、多摩大学グローバルスタディーズ学部元教授の佐藤美津子氏をお迎えして講座を開きました。

カップラーメンの歴史とともに日本と韓国のカップラーメンを実際に食べ比べしながら、文化の違いも感じながらの講義となりました。非常に興味深い内容のお話、さらに実食することによって、参加者の皆様から「他では味わえない講座でした」とのご感想をいただきました。

神戸



ふれあい喫茶も復活

6月18日、約3年ぶりに1階ホールにて「ふれあい喫茶」を開催しました。シルバーカレッジサランの会の皆様より、飲み物とケーキをご用意して頂きました。

ご利用様が順番に1階に降りて来られ、とてもいい笑顔で甘いケーキと飲み物を交互に召し上がり、ゆったりとした時間を過ごされました。ご利用者様より「久しぶりでおいしかった」「また次も楽しみにしてるよ」などの声も聞かれました。



3年ぶりに ホールで誕生会

6月12日「ウクレレの会」の皆様をゲストにお迎えし、1階ホールで誕生会を開催しました。特養・神戸デイ・真野デイのご利用者が参加され、第一部は施設長の挨拶から始まり、誕生日者のご紹介、職員からバイスデイソングのプレゼン、ろうそく消しとケーキカットをし、誕生日のご利用者様より一言を頂きました。

第二部は「ウクレレの会」の皆様による演奏、ウクレレの優しい音色と「ハワイの曲」「野に咲く花のように」など少し懐かしいメロディーにご利用者様も聞き入っていました。

3年ぶりに1階ホールで開催しましたが、元気な声、笑顔が多く、素敵な時間を過ごせました。



ちいさな芽

こころの家族のルーツ、韓国木浦共生園やその姉妹施設の近況をお伝えします

共生園 (養護施設)

環境劇を観覧

メディアアート体験で海の生き物 VR やホログラム、影絵シアターを楽しみました。

環境劇「クジラのお腹のなかの宇宙」も観覧し、ゴミの分別を遊び感覚で学ぶゴミ投げ遊びもしました。

海的环境汚染を題材にした子ども向けの環境劇によって、海のごみの深刻さや危険性を知ることができ、自然と共に生きる大切さを子ども目線に合わせて、わかりやすく教えてもらえました。



共生再活院 (知的障害者施設)

2023年上半期の家族会を開催

利用者さんの幸せそうな日常生活の映像を1階ロビーに用意し、ご覧になったご家族はとても喜ばれていました。

歳を重ねていく利用者さんの健康管理や安全に最善を尽くし、利用者中心のサービス支援をしていくことを報告しました。

保護者の方々は施設の役割や重要性について語ってくださり、上半期の利用者個別サービス支援に感謝していただきました。

木浦障害者療養院 (重度障害者施設)

消防安全教育を実施

利用者と職員の命、施設と地域社会の安全を守るため、年に4回以上の消防安全教育と合同訓練を行っています。

定期的を実施することで、迅速な避難、心肺蘇生法実習、消火器の使用などの訓練を職員はもちろん、利用者の皆さんもテキパキとこなすことができます。





皆様のご支援に感謝申し上げます



2023年6月～2023年7月 寄付合計 4,488,886円

堺	200,550円	京都	2,963,200円
大阪	1,500円	東京	130,800円
神戸	103,336円	法人	1,089,500円

2023年6月～2023年7月の寄付者 (敬称略)

佐藤 友美	ペン株式会社	光州市南区保健福祉部研修団	江南大学校総同門会 海外研修団	山本 大	京都市陶化地域包括支援センター
柴山 英太郎	金氏高麗人参株式会社	社団法人未来福祉経営	「ハートサービス運動」募金箱	カルメル修道院	照屋 則子
京畿道老人福祉館協会	金山 委智夫	田内 基	松田 洋子	菅野 俊美	寺田 利
夫昇培	(有)テラフ貨物店	鈴木 仁	日向 康夫	観寺 伊津美	峯岸 義則
大島 仁	松下 令子	瀧澤 織衣	田内 緑	四宮 章夫	宮原 智文
大韓老人会日本連合会京都支部	西川 勝一	多胡 元喜	村田 裕子	中野 敏彦	故郷の家・神戸募金箱
尹 清一	吉澤 まゆみ	大韓老人中央会研修団	岡 真由美	株式会社京都スペース	故郷の家 募金箱
田内 文枝	川島 順子	枝川 愛の教会	藤原 興	サー 坂口 伸宏	故郷の家・京都募金箱
松井 珍男子	佐藤 美津子	山田 原司郎	株式会社トラスト	高林 實結樹	金 二美代
青木 茂	角替 豊	炭谷 茂	パートナーズ	小林 四郎	韓国城東ケアセンター
杉山 佳子	(株)スポーツ寿苑	Sulin University	朴 忠弘	岡野 和子	ター
藤原 一臣	代表取締役 鄭 貞子	株式会社ヤマエン	金下 慶子	高須 俊明	(株)グローバル
李 守陳	竹井 祐一	タープライズ 代表	オートプロ島田	日韓キリスト教コンベンション訪問団	代表取締役
中村 啓子	匿名希望者	取締役 池 正淑	島田 隆男	韓国保健福祉部社会保障委員会	川島 忠義
藤田 裕之	池田 征一郎	南京都福祉センター	単立キリスト教八街	南区認知症サポートネットワーク	
星田 正雄	蔚山広域市社会福祉協議会	理事長 玉井 種一	グレイス教会		
金 慶光		金 宝熙	申 鉉錫		

2023年6月～2023年7月の寄贈者 (敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではございません。ご了承ください)

■故郷の家(堺) 着本 アサ子ご家族 原田 洋子ご家族 大仲 玲子ご家族 晋山 敏男ご家族 山本 善二ご家族 桐山 成子ご家族 岡田 英彦ご家族 森 繁雄ご家族 大井 敏子ご家族 佐々木 アイ子ご家族 柳生 民枝ご家族 田中 キノエご家族 竹井 光江ご家族 寺谷 壽美江ご家族 藤原 佐和子ご家族 小路 ヒサエご家族 武吉 文子ご家族 張李 瑞貞ご家族 サン朝日 永山齒科 永山成大	メンズショップ マルシン 木村 陽子 あゆみ介護センター 湯川齒科 訪問介護ステーション 掌 テスティパル 仏光殿 医療法人錦秀会	■故郷の家・神戸 山下 ひかり 大森 貴美栄 齋藤 節子ご家族 増金 優 片山 妙子 増田 有珍 岩本 絹子ご家族 若菜 操ご家族 中道リファイン薬局 多間 みゑ子ご家族	岩本 朝子ご家族 伊藤 可寿子ご家族 上野 英子ご家族 陳 由美 ファーストリネン 姜 順姫ご家族 川井 弘子 飯森 利彦ご家族 金 泰淑ご家族 中村 美佐子ご家族 金谷 小香ご家族 濱田 美智子 村上 順子ご家族 米谷 いづみ 中村 美佐子ご家族 津田 智恵子ご家族 中村 美佐子ご家族 中山 恵子ご家族 テスティパル(株) 田上 文子ご家族 洪 徳鈞牧師	大村 春子ご家族 瀬川 マツご家族 小嵐 佐美子ご家族 岩本 文子ご家族 金谷 小香ご家族 淡田 眞美子ご家族 和田 サエ子ご家族 川嶋本店	■故郷の家・京都 安田 照子ご家族 米田 眞理子理事 斉藤 夕里子ご家族 マリーヌ薬局 河原町店 栗原 美代子ご家族 ガーデンファイブ合唱団 森山 栄子ご家族 公益社 星 保子ご家族 本田齒科クリニック	松本 花子ご家族 テスティパル 岡本 都美子ご家族 京都九条病院 金井 良朗ご家族 孔 貞姫 野田 頼子ご家族 木村 文子ご家族 李 秋子ご家族 澤田 千代ご家族 林 敬三ご家族 利川 貞子ご家族 西澤 達子ご家族 梅林 禮子ご家族 辻 一夫ご家族 宋 夏子ご家族 河本 秀子ご家族 嘉門 和美ご家族 赤井 美和子ご家族 中村 眞智子様・共子ご家族	■故郷の家・東京 阿部 雅子ご家族 南 公恵ご家族 金 碩震ご家族 桂 祐幸ご家族 田村 京ご家族 瀧澤 トミ子ご家族 木下 文隆 平松 節子ご家族 芳賀 初江ご家族 今井 康子ご家族 柳澤 たけ子ご家族 松島 れい子ご家族 平安祭典
--	--	--	---	---	--	---	---

2023年6月～2023年7月の来訪者・ボランティア (敬称略)

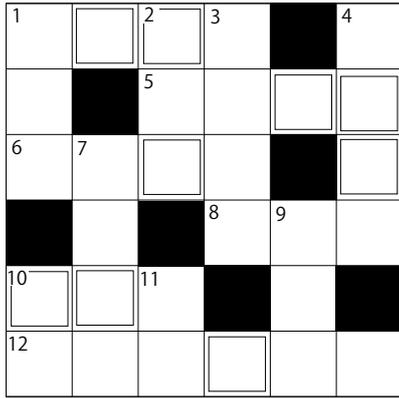
■故郷の家(堺) 新型コロナウイルス蔓延予防のため、ボランティア様の受入れを行いませんでした。	■故郷の家・神戸 サランの会 大藪 共基	■故郷の家・京都 影山 温人 傾聴ボランティア 京都PANA-ALC 2名 懐メロ聴くの会	木浦連合長老聖歌隊 ガーデンファイブ合唱団 サラン教会	■故郷の家・東京 韓国サンミョン大学 7名 ポスコジャパン37名 中島 榮美
---	-----------------------------------	--	-----------------------------------	--

◆ クロスワードパズル ◆

※前回の答えは「オリヒメヒコボシ」でした。

【イベントラブル続きですが…】

二重マスの文字を組み合わせて
できる言葉を書いてください。



- ①この夏も「」に関わる危険な暑さ」が連日。:
②原料は牛乳。トーストにたっぷり塗って。
③寄らば——の陰。
④目的の地をセットすれば案内してくれます。
⑦あてずっぽう。
⑨船の航行のために人工的につくった川。
⑩これを干すとスルメに。
⑪朝廷に仕える貴族・上級官人の総称。

↓ タテのカギ

→ ヨコのカギ

- ①ここで会議をする人もいる？
⑤キッチンでも大活躍。
⑥ICカードの残高がなくなったら——しましょう。
⑧上品で美しいこと。
⑩おどすこと。
⑫弦楽器・管楽器・打楽器で合奏します。

プレゼント



正解者の中から3名さまに、JTJ宣教神学校前学長でサクソフォン奏者の岸義紘さんのCD「ベストセレクション2/3種類」のサクソフォンによる名歌・讚美歌の世界」をプレゼント。大阪ガスグループ

福祉財団理事・木村陽子さんからご提供いただきました。

応募は、クロスワードパズルの答、住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、はがきなら〒590-0142堺市南区榎尾3360-12「故郷の家・クイズ係」へ、メールでの応募は news@kokorono.or.jp へどうぞ。10月10日締め切り。

本誌をお読みになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。お待ちしております！

共に希望に生きる

人は、誰しも懐かしい思い出に満ちたふるさとをもっている。ふるさとは、生まれ育った所であると同時に「帰る」所であろう。人生の喜びと悲しみ、栄光と重荷を背負って帰り着くところがふるさとであれば、なんと素晴らしいことではないか。そこでは、経験を分かち合い、共に希望をもって生きることができる。
(阿部志郎・神奈川県立保健福祉大学名誉学長)

こころの家族のサポーターになってください

- A) 愛の寄付金 …………… 自由な金額
B) 賛助会員 …………… 月 1,000 円 (年 1 万 2 千円)
C) 奨学会会員 (留学生や孤児・障害児支援) …… 月 5,000 円 (年 6 万円)
D) 1%会員 (所得、売上、祝儀、遺産、感謝)
E) 1 坪会員 (施設の新築・改築や環境改善支援) …… 30 万円

ご送金の方法

郵便振替 □座番号：00940-0-329280
加入者名：社会福祉法人こころの家族
銀行振込 銀行名：三菱 UFJ 銀行
支店名：光明池支店 普通 1052623
□座名義：社会福祉法人こころの家族

寄付申込書

年 月 日

*この申込書を FAX でお送りいただく下記施設まで郵送をお願いします。

FAX 072-271-5474 または 03-3644-0556

ふりがな
お名前

連絡先 〒

TEL

(自宅・会社)

FAX

ご寄付内容 ※具体的な支援先や事業名があれば、口数や金額とともに記入してください。

- 例1：●(B・賛助会員)として(2)口、(年2万4千)円を寄付します。
例2：●(E・1坪会員・堺)として(1)口、(3.5万)円を寄付します。

●()として()口、()円を寄付します。

お気軽に
お問い合わせ
ください。

故郷の家のご利用相談や
寄付。困っている高齢者、
留学生、外国籍の方も

■故郷の家(堺) 巽耕作(施設長)
大阪府堺市南区榎尾3360-12 TEL 072-271-0881
ブログ <http://kokyosakai.blog40.fc2.com/>

■故郷の家・大阪 田中久美子(主任ケアマネ)
大阪府大阪市生野区中川2-4-26 TEL 06-6753-6580
ブログ <http://kokyoosaka.blog79.fc2.com/>

■故郷の家・神戸 松下良平(施設長)
兵庫県神戸市長田区東尻池町7-4-21 TEL 078-651-1555
ブログ <http://kokyokobe.blog40.fc2.com/>

■故郷の家・京都 藤原一臣(特養施設長)、金滋榮(ケアハウス施設長)
京都府京都市南区東九条南松ノ木町47 TEL 075-691-4448
ブログ <http://kokyokoyoto.blog41.fc2.com/>

■故郷の家・東京 朴正米(特養施設長)、塩川優子(ケアハウス施設長)
東京都江東区塩浜1-4-48 TEL 03-3644-0555
ブログ <http://kokyotokyo5.blog.fc2.com/>

発行人：田内文枝 編集人：市川速水 編集：多胡元喜、佐東まゆみ
法人本部 〒590-0142 大阪府堺市南区榎尾3360-12 ☎072-271-0881 Fax 072-271-5474
<http://www.kokorono.or.jp> E-mail: kazoku@kokorono.or.jp



本法人は統一教会とは
関係ありません

在日韓国老人ホームを作る会の働きにより「こころの家族」が誕生しました。

お読みになった後はお隣の方にもおまわし下さい